

町政を問う!



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきてている。



まつおか 大悟 議員

今後一生懸命になつて普及に努めていきます

デジタル地域通貨の活用を推進すべき



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりという側面もあると言われ、全國の自治体でも導入されている。今後香美町でも導入を考えているか。

価高騰・応援券など、地域限定で利用できる商品券をデジタル化することで、支給するまでのスピード化や事業所のみなさんの換金作業簡略化が図れるなど、事務の軽減化、更には紙に比べ発送や印刷費など管理費用削減にもつながるなど様々な活用が考えられます。次の段階とし

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。



香美町ホームページ(総合計画QR)

第3次総合計画について、町長自身の目指すものが網羅されている形で示された。
第2次総合計画で示さ



むらた ゆきのぶ 村田 行信 議員

れた目標は達成されていないというふうに実際に数字で示されてしまつているですから、何かを変えないといけない。

各課、各分野で基本方針が6つある中、主要施策もそれに伴つて町のありとあらゆる分野がある。私はこれから先、来年の予算から何かしらチャレンジが

起きるものと信じているが、これは信じて大丈夫なものなのかを改めて問う。町長 向こう10年間の総合計画を、実行、イメージしているとおりに進捗するような努力は惜しまないつもりでいます。

ただ、それが明確に計画に沿つてできるのかと言いますと、これはまだ不確定

でありますけれども、役員と一緒に一丸となつて全力で取り組んでいくことはお約束をさせていただきたいたいと思います。

第3次総合計画に沿つて動き出す町政の行方はイメージどおりに進捗させる努力は惜しまない

